

2017年01月10日(火)【外為Lab】松田哲
タイトル:【トランプ新政権のヒントになるか?】

いよいよ、待ちに待った(?)「トランプ新政権」への記者会見が、明日(1月11日)行われる。

「待ちに待った」と書いたのは、トランプ氏に期待しているのではなく、トランプ氏の描いている新政権の政策について、

「少しは分かるところがあるのではないか?」

と期待しているのだ。

本当に、メキシコと米国の国境に、「万里の長城」を築くつもりなのか?

トランプ氏の発言は、冗談なのか、本気なのか、分からないところが、たくさんある。

メリル・ストリープ氏が、トランプ氏を名指ししないまでも、暗に示唆して、トランプ氏の言動を批判した。

メリル・ストリープ氏の発言は、最も至極である。

米国を代表する政治家(人々への影響力がある次期大統領)が、肢体不自由の人(ハンデキャップのある人)のまねをして、揶揄(やゆ)することは、間違っている。

そういった、いわゆる「偉い人」が、そのような行動をすると、

「そのような態度を取っても良いのだ」

と、「お墨付き」を与えてしまうことが困るのだ、と述べている。

トランプ氏は、言い訳のような反論しているが、メリル・ストリープ氏の言う通りで、トランプ氏は、さっさと謝罪する方が得策だろう。

間違った場合に、間違いを認める方が、ポピュリズムにかなうからだ。

+++++

今の日本を見ても、同じことが起きている、と感じる。

いわゆる「日本の偉い人」は、責任を取らない。

間違っても、知らぬ存ぜぬで、責任の所在すら不明確だ。

現在の日本の国政を見てもしかり、都政を見てもしかり、と感じてならない。

+++++

閑話休題。トランプ新政権の話題に戻します。

トランプ新政権の発足は、1月20日ですが、明日（1月11日）に、トランプ次期大統領の記者会見があります。

「トランプ次期大統領が、どの程度、具体的な内容を発言するのか？」

「次期政権の政策が、どのようなものになるのか、何かしらのヒントがあるのではないか？」

そういった期待感があります。

明日（1月11日）のトランプ次期大統領の記者会見は、注目度大です。

+++++

（2017年01月10日東京時間15：40記述）